特集に寄せて

副会長 小岩 一郎*

Introduction to the Special Edition

Ichiro KOIWA*

* 関東学院大学理工学部 (〒 236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1)

* College of Science and Engineering, Kanto Gakuin University (1-50-1, Mtsurahigashi, Kanazawa-ku, Yokohama-shi, Kanagawa 236-8501)

技術運営委員会は、初めての試みを行います。

技術運営委員会の講演会を2月18日(木)、19日(金)に開催します。会員でなくても学生は無料です。依頼講演も4件予定しております。

本学会において、技術委員会の果たしてきた役割は重要なものがあります。講演大会をはじめとして、学会誌や公開研究会の企画など、本学会の屋台骨を支えてきています。しかし、最近、「技術委員会も数が増えてきて、全体像がよく分からない」、「どの技術委員会に入ったら良いのか、迷ってしまう」といった声を耳にします。そこで、技術運営委員会が中心となって、全委員会と研究会の講演会を企画しました。2月18日(木曜日)と19日(金曜日)の二日間、関東学院大学の金沢八景キャンパス(神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1)のベンネットホール(SCC館4階)において開催します。詳しくは当学会のホームページ <http://www.e-jisso.jp/>) をご覧いただき、申し込みをしていただき、是非、ご参加ください。技術委員会と研究会から18件の発表と1つのパネルディスカッションを行います。さらに、4件の依頼講演をお願いしました。最初に、「ビッグデータと大規模通信の新時代を支えるのはやはり電子デバイスだ!! ~センサー、通信チップ、電子回路/実装が主役に躍り出る」という題目で、産業タイムズ社の泉谷渉氏をお願いしております。次に、「Industrie 4.0が必要とする実装技術」という題目で、インターコネクション・テクノロジーの宇都宮久修氏をお願いしております。さらに、「The Direction of RDL Technology & Status of J-Devices' PLP Technology」という題目で、ジェイデバイスの勝又章夫氏をお願いしております。最後の依頼講演として、「エレクトロニクス産業の将来を考えるーケイパビリティとアーキテクチャの観点から」という講演題目で、東京大学の藤本隆宏先生をお願いしております。

参加に際しては、前述のホームページからのお申込みが必要ですが、賛助会員の方のクーポン利用も可能ですし、

名誉会員、学生、ミッションフェローは無料にいたしました。技術運営委員会での議論の中で、ミッションフェローと学生(当学会の会員でなくても無料です)は、将来の本学会をはじめ日本の未来を担ってもらわなければなりませんので、無料にいたしますので、登録だけはしていただき、是非、ご参加ください。特に、依頼講演は、このような講演を無料で聴講できる機会は多くはありませんので、是非、ご活用ください。

日本の製造業、特にエレクトロニクス産業については、いろいろな意見が出ておりますが、その中にある私達が、「何を、どのように考えるか?」も重要だと考えております。そのためには、個別の技術委員会の活動も重要ですが、技術委員会に横串を通すことも重要であり、さらに、時代や技術の変化に迅速に対応する技術委員会を設置することも重要です。そこも技術運営委員会のミッションであることを再認識するとともに、技術運営委員会として、具体的な行動の第一歩となる、今回の講演会を開催いたします。このような活動が活発化して、タイムリーな新しい技術委員会の設置と既存の技術委員会の手厚いサポート活動が行われることにより、日本のエレクトロニクス産業の活性化の一役を担うようにしていきたいと思います。

また、各技術委員会の交流の場も必要と考え、学内で講演会の初日である2月18日(木曜日)の終了後に懇親会も行います(会費は4,000円を予定しております)。こちらの方も是非、御参加下さい

(2015.11.2- 受理)

著者紹介

小岩 一郎 (こいわ いちろう)

関東学院大学理工学部 化学系 教授
昭和57年 早稲田大学理工学部応用科学科卒業
昭和62年 早稲田大学大学院理工学研究科
博士後期課程修了(工学博士)
昭和61年~昭和63年 早稲田大学理工学部助手
昭和63年 沖電気工業株式会社 研究開発部門
平成17年4月より、現職
専門: 薄膜工学, 実装工学, 表面処理